

目的（用途）に合った パソコンの選び方（参考）

パソコンは、ハイエンドユーザー向けの高価格なものから廉価な価格帯でも一般事務処理や簡単な画像・動画編集も十分可能なものがあります。

『高価格のPC = 自己負担金の増額』にもつながります。

画面のサイズ・重量以外にも 目的に見合った性能のパソコン を選んでください。

* この資料は、購入時に参考になりそうなネット上の情報を集約したものです。

1.目的に見合った性能（CPU）で選ぶ

ユーザー区分	CPUメーカーと型番		代表的な用途（ネットでの一般的な解説）
	Intel	AMD	
超ハイエンド向け	Core i9	Ryzen 9	文書作成、ネット閲覧、動画視聴、ゲーム、動画編集、動画配信、コンテンツ作成 高解像度の動画編集や高解像度のゲーム配信をする人適している。
ハイエンド向け	Core i7	Ryzen 7	文書作成、ネット閲覧、動画視聴、ゲーム、動画編集、動画配信 本格的なオンラインゲームを楽しむ人や負荷の高い高品質の動画作成・処理をする機会が多いデザイナー・クリエイターに適している
スタンダード （一般事務向け）	Core i5	Ryzen 5	文書作成、ネット閲覧、動画視聴、動画編集、ゲーム Officeソフトでの事務作業や趣味において、画像やイラストなどのデザイン、動画編集作業を行うユーザーに適している。
	Core i3	Ryzen 3	文書作成、ネット閲覧、動画視聴、 Officeで文書作成や見積書や伝票作成などの一般事務作業でデータを多く処理するのに適している
エントリー（初心者）	Core M Pentium Celeron Atom	Athion A-Series	文書作成、ネット閲覧、動画視聴 家庭での使用や簡単な事務作業・ネットの閲覧メールのやりとりには十分な性能を発揮。ネットの閲覧をメインとして家庭での使用が目的の人に適している。

1-2.目的に見合った性能を確認する（CPUの見方）

メーカー名

CPUの型番

Intel® Core™ i7 - 10310 Y processor

世代

CPUは世代を重ねるとごとに進化を遂げその性能が向上しますが、一方で最新型は価格も高くなります。同じ型番でも世代が古いと安価で購入することができます。。

CPUの型番 と 世代

Core i7-1165G7→	11世代Core i7
Core i7-10310Y→	10世代Core i7
Core i7-9850H→	9世代Core i7
Core i5-8265U→	8世代Core i5
Core i5-7360U→	7世代Core i5

2. メモリーと内部ストレージ（記憶媒体）

ユーザー区分	メモリー容量	代表的な用途
超ハイエンド向け	16GB～	文書作成、ネット閲覧、動画視聴、ゲーム、動画編集、動画配信、コンテンツ作成
ハイエンド向け	8GB～	文書作成、ネット閲覧、動画視聴、ゲーム、動画編集、動画配信
スタンダード (一般事務向け)	8GB～ 4GB～	文書作成、ネット閲覧、動画視聴、一般的な動画編集、ゲーム
	4GB～	文書作成、ネット閲覧、動画視聴
エントリー（初心者）	4GB～	文書作成、ネット閲覧、動画視聴

内蔵ストレージの容量も使用目的で選びましょう	
容量	主な使用目的
512GB以上	写真、動画を多く保存、ゲームをインストールしたい場合。
256GB	アプリを色々インストールしたい場合
128GB	インターネット、動画閲覧、文書作成などがメイン（初心者向け）